



【学校教育目標】 仲間とともに自ら未来を拓こうとする子どもの育成



## ともに創る学校～入学説明会より～



校長 花田 修

本日はご多用の中、入学説明会においていただきありがとうございます。4月から私たちと皆さんとは「子どもを大事に育てる」という同じ目標をもった、いわば「仲間」であり「同志」であると言えます。ぜひ、お互いにコミュニケーションをしっかりと取り合い、お互いを尊重しあいながら「子どもたちの笑顔、そして幸せ」のために、ともに頑張っていければと思っています。よろしくお願ひします。

まず、本校のことを、少しお話しします。本年度、現在934名の児童が在籍しており、福山市で最も多い児童数、広島県では8番目に多い児童数の学校です。来年度は、今のところ、約40人ほど児童数が減少するものの890～900人ぐらいの児童数になる見込みです。

今年度、本校では、自律的な学び手の育成を主題として、教育活動を行っています。シンプルに言うと、子ども達には、「自ら考え、判断し、決定し、行動する資質」すなわち「自律する力」を身に付けさせていく必要があると考えています。

それは、なぜでしょうか。この数年でわたしたちの生活が劇的に急速に変化したことはよくご存じだと思います。

もちろん、コロナウイルス感染症の影響が全世界の人々を巻き込み、人々の生活や心に大きな制限や壁をつくりました。学校も今まで経験したことのない臨時休業やリモート学習、分散登校など、今までの当たり前や価値観が一気に変わっていた日々を経験しました。

こうした中であらためて、「学校とは何のために存在するのか」といった根本的な問いを多くの方が考えるきっかけとなりました。みなさんの中にもこの問いについて、自分なりに考えた人がいるかもしれません。勉強をするためとか友達との協調性を身に付けるためとか、多くの仲間とさまざまな経験から学ぶためとか・・・答えは一つではなく、ここに100人いれば100通りの考えがあると思います。ただ、いろいろな考えがあるとしてもみんなが納得できることは、「学校とは、子どもたちが、将来、社会の中でよりよく生きていけるようにする」ところであると言えると思います。

そのために、先ほど述べた、「自ら考え、判断し、決定し、行動していく力」すなわち自律する力を育てることを大事にしたいと考えるのです。

そうした力を育てるための取組を一つだけ紹介していきます。

本校では、チャレンジデーという名前で、家庭学習において自分の興味関心のある内容について追究するようにしています。自分をもっと知りたい、どうして何々なんだろうと思った疑問にしっかり向き合うことで、学習意欲を高めたり、課題発見解決力を身に付けたりして、学ぶことが楽しい、もっと知りたいという知的好奇心も高められると考えています。国語・算数などの基礎学力の定着を大事にしつつも、自分のもっている疑問や不思議を大事にした学びを継続することで、さきほどの目的である自律する力を高めることにつながると考えています。今後も子どもたちの「学びたい」という気持ちを引き出し、その「学びたい」を実現させるための方法も子どもたち自身で考えるような機会をどんどん増やしていきたいと考えています。

今の子どもたちが生きる未来は、あふれる情報の中、先行き不透明で、変化に対応できる自律した人間力が必要となってきます。イギリスにあるオックスフォード大学の調査では、IT技術の発達により「現在ある職業のうち10～20年後には約50%が消えAIがとって代わる」といった結果を出し、以前ニュースになっていました。現在、国内でも無人のコンビニエンスストアや無人バスの運行など、様々な実証事業がすでに進んでいます。

また、我が国は10年前4人に1人が高齢者と言われていましたが、10年後は3人に1人は高齢者となり、高齢者社会が一層進んでいきます。

そうした中で、労働人口も大きく減り、外国の方々や高齢者と一緒に社会で仕事をしていくようになることがこの先展望できます。

そういう将来を踏まえながら、ぜひご家庭でも、お子さんが自分で疑問をもち、考える機会を意図的につくり、子ども自身が解決していく道筋を家庭教育でも大事にしてほしいと思います。

たとえば、小学校生活スタートに向けて、通学路を事前に親子で歩く機会があるかもしれません。その際に危険な場所の確認もされるでしょう。この場所が危ないよといった指示ではなく、なぜ、この場所が危険なのかを子どもが考える場面を意図的につくりながら、ことばを丁寧に交わしていく営みを意識的に行ってみてください。こうした、なぜ～なのかをポイントに家庭教育を進めることで、目的や理由を考えるくせが身につき、自ら考え判断する力が芽生えてくると思います。

最後になりましたが、4月にお子さんが元気に入學してくることを心よりお待ちしております。子育ては答えのない難問の連続です。いつでも学校に相談していただければと思っていますし、私たちも困ったら保護者の皆様に相談させていただくこともあると思います。ともに協力して御幸小の子ども達を育てていくことをお願いし、あいさついたします。

